

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

愛称：世カエル 世界を変える技術 追加型投信/内外/株式/インデックス型

※当レポートでは、「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」を「世界ブロックチェーン株式ファンド」、
「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)」を「予想分配金提示型コース」ということがあります。

特別レポート

大きなイベントをこなしてきた 2024年前半の暗号資産市場

- 1 大きなイベントをこなしてきた2024年前半の暗号資産市場
- 2 暗号資産関連のイベントが世カエルに与える影響について
- 3 暗号資産以外の様々な分野に広がるブロックチェーン技術

BLOCK CHAIN

ポイント 1 大きなイベントをこなしてきた2024年前半の暗号資産市場

世カエルは、様々なブロックチェーン技術を活用して新たなサービス・仕組みを作り出している企業などに投資を行います。その1つの分野として暗号資産に関連するビジネスを行っている企業にも投資をしています。

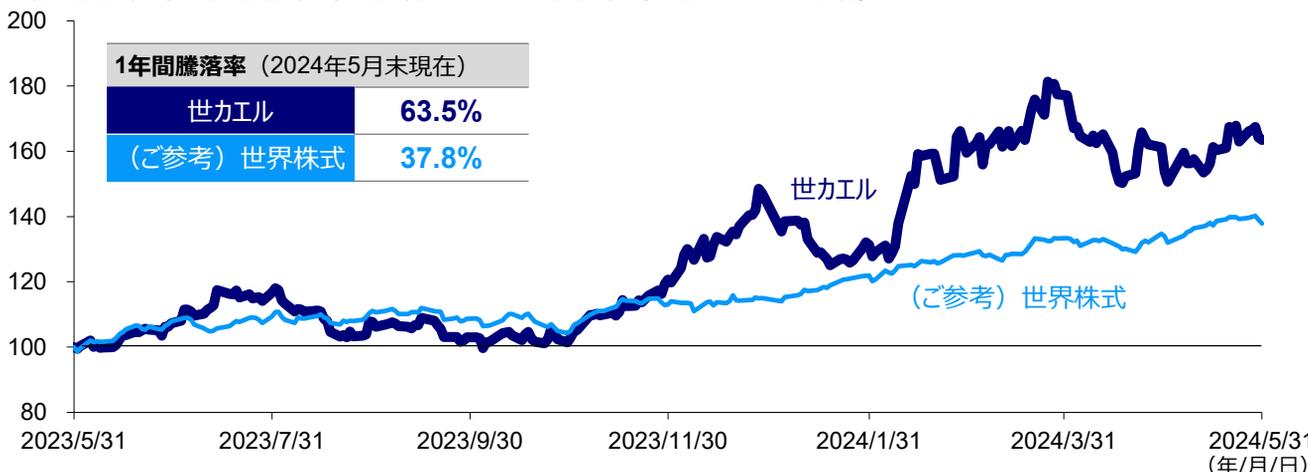
2024年に入り、暗号資産関連の大きなイベントがあり、その動向は当ファンドの値動きにも影響することから、ご説明いたします。

【2024年前半の暗号資産関連の大きなイベント】

- ビットコイン現物型ETF上場** 米国（1月）と香港（4月）でビットコイン現物型上場投資信託（ETF）上場
英国でビットコインを運用対象とする上場投資商品（ETP）上場（5月）
- イーサリアム現物型ETF上場** 香港でイーサリアム現物型ETFが上場（4月）
英国でイーサリアムを運用対象とするETP上場（5月）
米証券取引委員会（SEC）が同現物型ETFの上場を承認（5月）
- ビットコインの半減期** 約4年に1度訪れるビットコインの半減期到来（4月）

過去1年間のファンドの基準価額（課税前分配金再投資）と世界株式の推移

期間：2023年5月31日～2024年5月31日（日次、円ベース、2023年5月31日を100として指数化）



出所：ブルームバーグ、インベスコ、各種報道 世カエル（世界ブロックチェーン株式ファンド）は、信託報酬控除後基準価額です。基準価額は、課税前分配金を再投資したと仮定した数値です。世界株式：MSCIワールド（トータルリターン、円ベース） 世界株式は、基準価額算出日の前営業日のデータ、為替は当日のレートを使用し、委託会社が円換算しています。「世界ブロックチェーン株式ファンド」と「予想分配金提示型コース」の設定来のパフォーマンスは6ページをご覧ください。上記は、2024年5月末時点の情報に基づいています。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ポイント ① 大きなイベントをこなしてきた2024年前半の暗号資産市場（つづき）

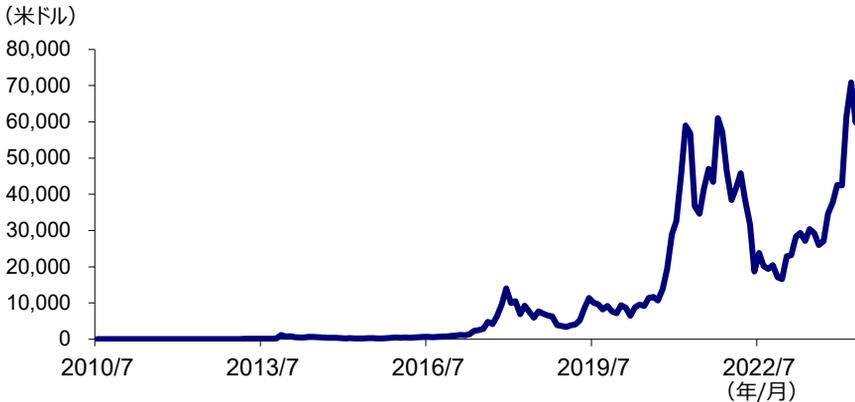
イベントの詳細と今後の市場への影響を説明します。

🔗 米国、香港と英国におけるビットコイン現物型ETF上場*

2024年1月	米国でビットコイン現物型上場投資信託（ETF）上場
2024年4月	香港でビットコイン現物型上場投資信託（ETF）上場
2024年5月	英国でビットコインを運用対象とする上場投資商品（ETP）上場（取引はプロの投資家に限定）

- ビットコイン現物型ETFの上場より、以下の理由から短期的だけでなく**中長期的なビットコインの投資家の拡大と資金流入が見込まれると期待**されます。
 - ① 米国の金融当局であるSECが承認した金融商品であること
 - ② ルールが整備された各国の取引所で健全な取引ができるようになったこと
 - ③ 従来の証券口座を介して以前より簡便にビットコインに投資できるようになったこと
- さらに、伝統資産との相関が低いことから、**機関投資家の分散投資先として活用され始めています**。実際に、米SECに提出された3月末時点での保有報告では、①米国の公的年金がビットコイン現物型ETFへ投資を開始したこと、②公募投資信託におけるビットコイン現物型ETFの組入れたこと、などが確認されており、**従来期待されていた以上に速いスピードで分散投資先としての利用が始まっています**。

ビットコインの推移 期間：2010年7月末～2024年5月末（月次）



🔗 香港と英国においてイーサリアム現物型ETFが上場、米SECも同現物型ETFの上場を承認

- もう一つの主要暗号資産であるイーサリアムに関しても、各国でETFが上場されました。2024年4月に香港において、5月には英国*において現物型ETFが上場しました。
- さらに、5月には、予想外の米SECの方針転換を受け、米国でイーサリアム現物型ETF上場が承認されました。実際に取引されるためには登録届出書の承認を得る必要があり、数週間から数カ月かかるかとされています。ハードルが高いとされていた米国市場での上場が許可されたことで、イーサリアムの価格は大きく上昇しました。2つの**主要暗号資産のETF上場により投資資産としての認知が高まった**といえます。

* 英国においては、上場投資商品（ETP）として上場されました。ETPとは、「Exchange Traded Products」の略称で、上場投資信託（ETF）、上場投資証券（ETN）、コモディティ上場投資信託（ETC）など、取引所に上場し特定の指標の値動きに連動する運用成果を目指す金融商品の総称

出所：インベスコ、各種報道 上記は、2024年5月末時点の情報に基づいています。

上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

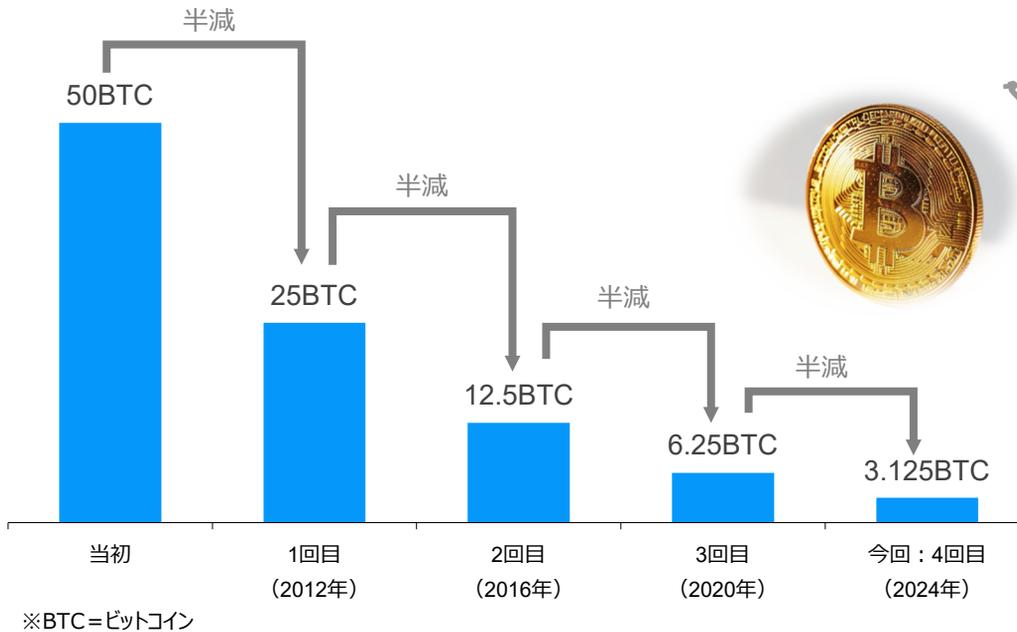
インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ポイント ① | 大きなイベントをこなしてきた2024年前半の暗号資産市場（つづき）

🔗 ビットコインの半減期

- ビットコインは、「マイニング（採掘）」で生み出されます。「マイニング」とは、コンピューターを用いてビットコインの取引記録を承認し、そのデータをブロックチェーンに保存する作業を行うことです。
- そのための複雑で膨大な計算処理をする人は「マイナー（採掘者）」と呼ばれ、いち早く計算処理をできたマイナーには、報酬としてビットコインが支払われます。この報酬が半減するのが「半減期」です。
- **供給量を抑制し、インフレを防ぐため**、ビットコインの半減期が約4年に1度の周期で来るようにプログラムされています。
- その4回目の半減期が2024年4月20日に実施されました。過去3回ではビットコインの相場に影響を与えてきたことから、注目のイベントとなりました。
- 過去のいずれの半減期も、報酬が減るため供給が減少する傾向にあることから、その後ビットコイン価格は上昇しました。世カエルが設定された後に実施された3回目の半減期（2020年5月11日）においては、その1年後にビットコイン（米ドルベース）が559%上昇する中、世カエルの基準価額（円ベース）は159%の上昇しました。

ビットコインの半減期の報酬の推移



出所：インベスコ、各種報道 3回目の半減期の騰落率の期間：2020年5月11日～2021年5月11日 世カエルの騰落率は、インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）のものです。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド (予想分配金提示型)

ポイント 2 | 暗号資産関連のイベントが世カエルに与える影響について

- 年初からの暗号資産関連のイベントを受けて暗号資産関連企業の株価動向を見てみると、大きく上昇した銘柄がある一方で、期待先行で買われた後、イベント通過後には大きく売られた銘柄も散見されています。
- 一方、中長期的に見ると、特にETFで暗号資産が取引できるようになったことは、**取引の安全性や利便性が向上**するといったメリットあり、**機関投資家がアクセスしやすい環境が整ったことでビットコインなどの需要が高まる**と考えます。そのため、世カエルで投資している**暗号資産関連企業の成長が期待**されると考えています。
- 世カエルではブロックチェーン技術の専門家であるコインシェアーズ社のリサーチによって銘柄選択、組入比率が決定されています*1。注目度も高く変化の速い業界の中で、過度な期待のみで株価が上昇する銘柄もあることから、**持続可能な収益を生み出す企業を特定し、暗号資産市場の成長の恩恵を捉えていくことを目指しています**。

世カエルの銘柄選定のポイント

流動性と透明性

上場株式へ投資を行うことで流動性と透明性を確保

バズワード*2よりも収益を重視

ニュースリリースではなく、収益化の可能性に焦点を当てたりサーチ

分散された投資対象

世界の投資機会へアクセス

持続可能な収益を生み出す企業を特定

暗号資産の市場の成長の恩恵を受けると考える企業例をご紹介します。

マイクロストラテジー (情報技術/米国)

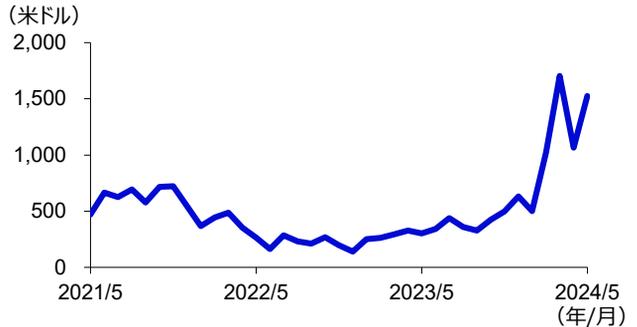
産業分類: トークン・インベストメント



- ソフトウェア会社。ビジネス・インテリジェンス・ソフトウェアと関連サービスを提供。
- 新しいテクノロジーがもたらす価値の創造に着目してきた同社の創業者は、現在はデジタル資産として、ビットコインの価値の保存機能に確信を持っている。
- これまで自社の自己資金約60億米ドル*3をビットコインに投じており、同社株式は機関投資家からの暗号資産投資の代替投資先としての評価も得ている。

株価推移

期間: 2021年5月末~2024年5月末 (月次)



クリーンパーク (情報技術/米国)

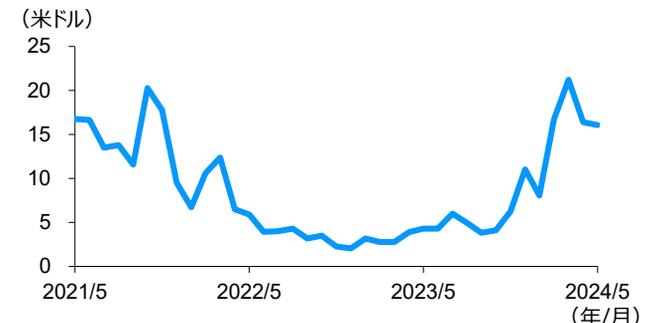
産業分類: マイニング・オペレーション



- 再生可能エネルギーによるビットコインのマイニング企業。自社でのマイニングのほか、データセンターサービスや仮想ストレージ、データバックアップサービスなど、暗号資産関連のクラウドサービスが強み。
- 同業他社比で積極的な設備投資による競争優位性がある。限られた人員でのオペレーション、電力コストの低さから、ビットコイン・マイニングにかかる損益分岐点の低さを評価している。

株価推移

期間: 2021年5月末~2024年5月末 (月次)



*1 当ファンドが連動を目指す「コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス (税引後配当込み、円換算ベース)」は、コインシェアーズ・インターナショナル・リミテッド (コインシェアーズ社) が選定した銘柄で構成されています。*2 説得力のある言葉のように見せ変えて意味や定義が不明瞭な言葉。*3 2024年2月5日現在 出所: インベスコ、ブルームバーグ、マイクロストラテジーIR資料 国・地域は、発行体の国籍 (所在国) などで区分しています。業種は、GICS (世界産業分類基準) に準じています。産業分類は、コインシェアーズ社がブロックチェーン・ビジネスを独自に8つの産業に分類したものです。詳細は次ページをご覧ください。上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。写真はイメージです。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

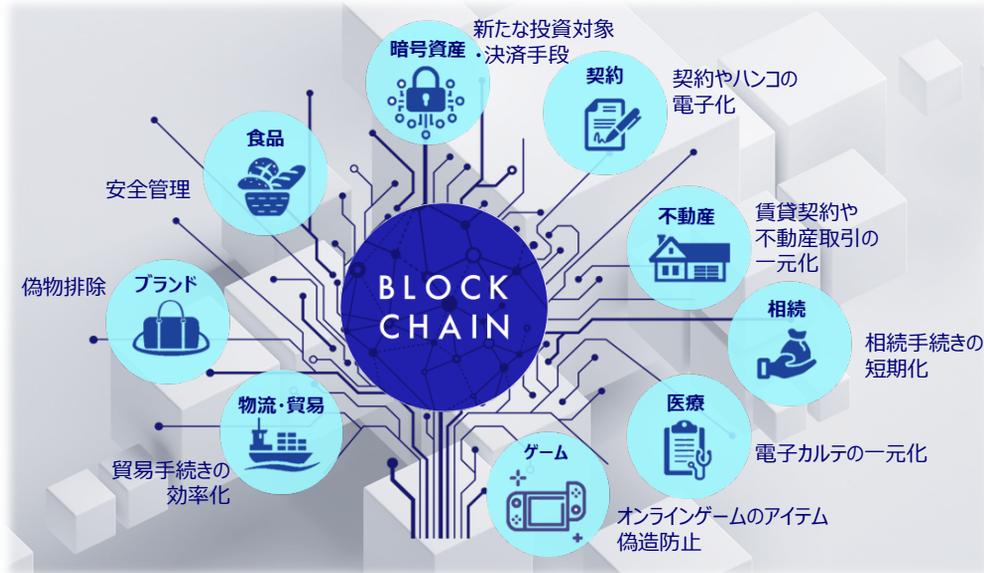
インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ポイント ③ 暗号資産以外の様々な分野に広がるブロックチェーン技術

暗号資産から既存産業の技術革新へと裾野が広がるブロックチェーン技術

- ブロックチェーン技術は暗号資産関連企業だけでなく、様々な分野の企業活動に活用が広がり、新しいサービスや産業を生み出しています。不動産やアートをブロックチェーン技術を使用してデジタル化するなどは既に実用化されているほか、ゲーム領域などでも**ブロックチェーン技術を活用した新規産業が立ち上がっています**。
- また、**ブロックチェーン技術は実生活の基盤として浸透**してきています。例えば、食品のトレーサビリティ（追跡）により食の安全性の確保に活用されたり、ブランド品の偽造対策により企業のコスト負担を軽減させたり、電子化による契約の手続き簡素化を実現したりなど、私たちは見えないところでその恩恵を受けています。
- 世カエルでは、**今後も暗号資産関連企業への一定の配分を維持しながらも、特定の分野に偏らず、ブロックチェーン技術を活用する幅広い業種に分散したポートフォリオを構築**していく方針です。

ブロックチェーン技術が活用される主な分野のイメージ図



世カエルでは、ブロックチェーン関連企業をコインシェアーズ社独自の8つの産業に分類し、分散して投資しています。

世カエル 8つの産業分類の構成比率

2024年5月末現在

8つの産業分類	ファンドの構成比率		暗号資産関連/その他*
ブロックチェーン金融サービス	30.1%	暗号資産取引所などの運営、ブロックチェーンを活用した金融サービスの提供	暗号資産関連/その他
マイニング・オペレーション	27.9%	暗号資産のマイニング事業、ブロックチェーンエコシステムの構築	暗号資産関連
マイニング・ハードウェア	13.8%	暗号資産マイニング装置や装置部品となる半導体などを製造	暗号資産関連
ブロックチェーン技術ソリューション	10.9%	ブロックチェーン技術を活用したエコシステムの開発、アプリケーションの提供	その他
ブロックチェーン決済システム	8.4%	ブロックチェーンを活用した決済システムのサービスを提供	その他
トークン・インベストメント	5.6%	暗号資産などのへの投資	暗号資産関連
エネルギー	1.9%	暗号資産に関連するエネルギー資産のリース料など	その他
マイニング・テクノロジー	-	暗号資産マイニング技術の提供	暗号資産関連

* その他は、暗号資産以外のさまざまな分野でブロックチェーン技術を活用したビジネスを指します。上図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。また、ブロックチェーン技術が活用されるすべての分野を網羅したものではありません。出所：インベスコ ファンドの構成比率はマザーファンドにおける純資産総額比率。上記の産業分類は作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり将来の成果をお約束するものではありません。上記は2024年5月時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

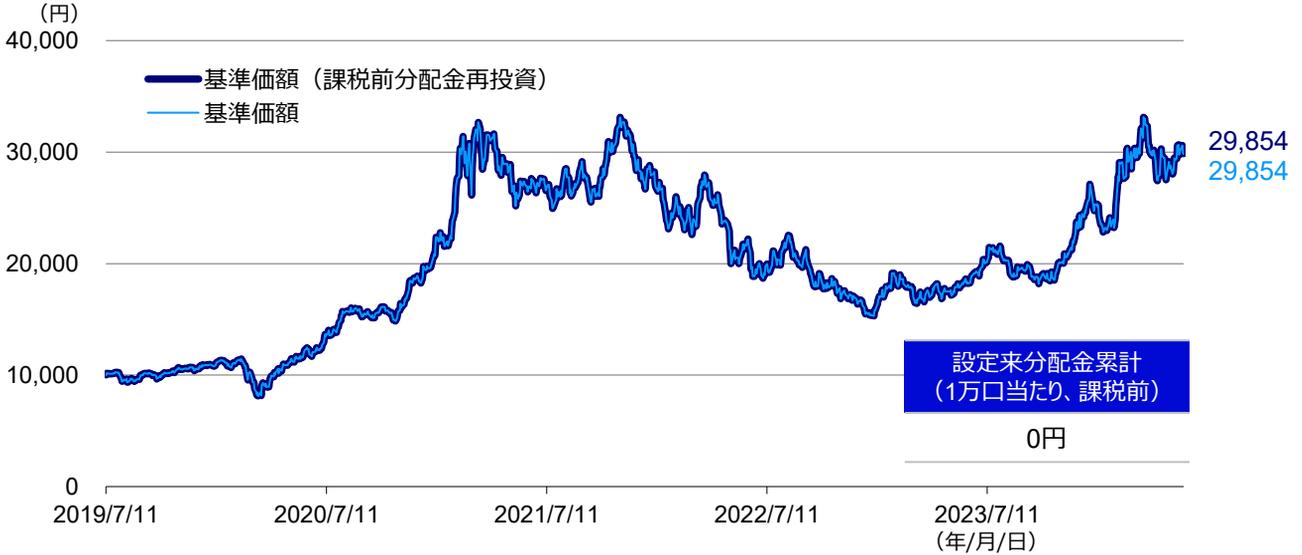
インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

（ご参考） 世カエル設定来の基準価額推移

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの設定来基準価額推移

2019年7月11日～2024年5月31日（日次）



インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）の設定来基準価額推移

2021年3月11日～2024年5月31日（日次）



出所：インベスコ

基準価額は信託報酬控除後基準価額です。分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断等により分配を行わない場合もあります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ファンドの特色

1. 主として、マザーファンド※1 受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国のブロックチェーン関連株式に投資を行います。効率的な運用を目的として、ブロックチェーン関連株式を投資対象とする上場投資信託証券にも投資することがあります。
2. コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※2の動きに連動する投資成果※3を目指します。
3. 実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。
4. インベスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシー（米国、ダウナーズグループ）に、マザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

◆分配方針

■各ファンドの決算日（同日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- ・インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドの決算日：毎年7月10日
分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）の決算日：毎月10日
分配金額は、委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

■ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。

※予想分配金提示型の分配方針の詳細については下部の「予想分配金提示型の分配方針」を参照ください。

※1 ファンドが投資対象とするマザーファンドは、「インベスコ 世界ブロックチェーン株式マザーファンド」です。

※2 ◇ファンドは、コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）をベンチマークとします。◇コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、基準日前営業日のコインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックスは、コインシェアーズ・インターナショナル・リミテッドが独自の分析に基づき選定した銘柄で構成され、ソラクティブ AG（ソラクティブ社）によって算出、公表されています。◇ソラクティブ社は、コインシェアーズ・ブロックチェーン・グローバル・エクイティ・インデックス（当指数）、およびその登録商標、当指数データの利用結果に関して、何時、いかなる点においても明示的、黙示的な保証または確約を行いません。ソラクティブ社は当指数を正確に算出するために最善を尽くしますが、指数提供者としての義務にかかわらず、投資家および金融商品の仲介者を含む第三者に対して、当指数の誤りを指摘する義務を負いません。ソラクティブ社による当指数の公表および金融商品に関連した目的での当指数または当指数の商標利用の使用許諾は、ファンドへの投資を推奨するものではなく、また、ファンドへの投資に関してソラクティブ社の保証または意見を表明するものではありません。

※3 ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行います。基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドおよびインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では、2021年10月15日にインデックス・アドバイザーおよびベンチマークの名称が変更されています。詳細については、インベスコ・アセット・マネジメントのホームページにてご確認ください。



予想分配金提示型の分配方針

・予想分配金提示型の場合、分配対象額の範囲※1内で、決算日の前営業日の基準価額※2に応じて、以下の金額の分配を目指します。

※1 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含む配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

※2 基準価額は1万口当たりとし、支払済の分配金累計額は加算しません。

決算日の前営業日の基準価額 （1万口当たり）	分配金額 （1万口当たり、課税前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

- ・基準価額に応じて、分配金額は変動します。
- ・基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を継続する、というものではありません。
- ・分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
- ・決算日の前営業日から決算日までの間に基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市況動向等によっては委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配が行われない場合があります。
- * 上記は、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

収益分配金に関する留意事項

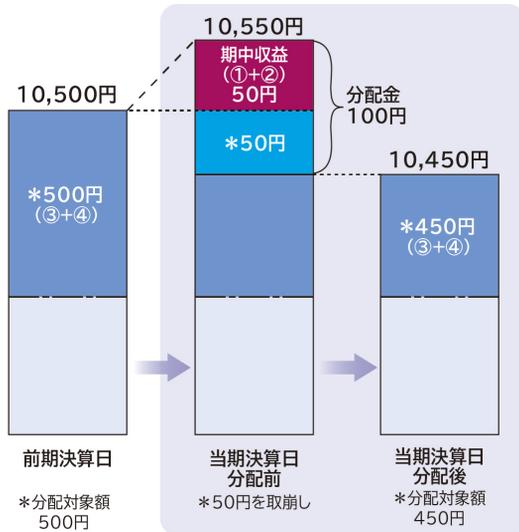
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



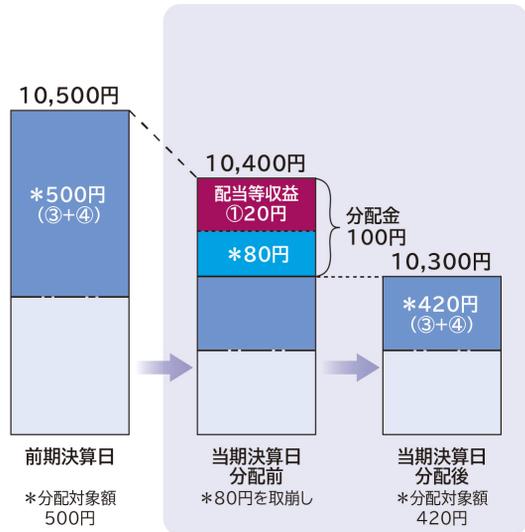
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



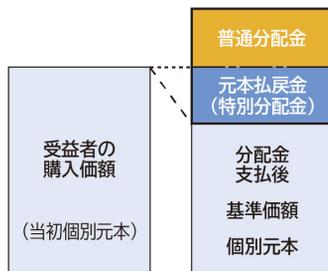
■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
* 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

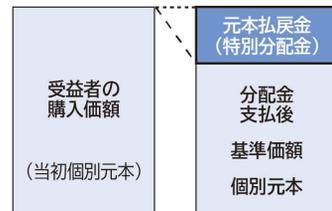
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は**非課税扱い**となります。

■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、組み入れた株式などの値下がりやそれらの発行者の信用状況の悪化などの影響により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

購入のお申し込みの際は、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ファンドの内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。基準価額の変動要因として、①価格変動リスク、②信用リスク、③カントリー・リスク、④為替変動リスク、⑤流動性リスク、その他の留意点などがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める 3.30%（税抜3.00%）以内 の率を乗じて得た額
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.573%（税抜1.43%）以内 の率を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。 なおインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> ● 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ● 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限として、インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドでは毎計算期間の最初の6か月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）では毎計算期末または信託終了のとき、投資信託財産中から支払われます。

* お客さまにご負担いただく費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「分配金再投資コース」と「分配金受取りコース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金の申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所のいずれかの休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する日には、購入・換金のお申し込みの受け付けを行いません。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 無期限（設定日：2019年7月11日） ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 2021年3月11日から2029年7月10日まで（設定日：2021年3月11日）
繰上償還	信託契約の一部解約により、受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などは、信託期間の途中で償還することがあります。
決算日	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 毎年7月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日） ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 毎月10日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド 年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ■ インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型） 毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。 <p>※委託会社の判断により分配を行わないことがあります。収益分配の詳細は「ファンドの特色」と「予想分配金提示型の分配方針」の項目をご参照ください。</p> <p>※「分配金再投資コース」でお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。「インベスコ世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）」は、NISAの対象ではありません。「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。
スイッチング	「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド」と「インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）」との間でスイッチングが可能です。販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合やファンド間でスイッチングが行えない場合があります。また、換金するファンドに対して税金がかかります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

※各ファンドについて個別に記載がない箇所については両ファンドの共通記載事項です。
※販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2024年5月31日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	※1 世界ブロックチェーン株式ファンド 取り扱い販売会社	※2 予想分配金提示型 コース 取り扱い販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		○	○	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○		○	○
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○				○	○
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○	○	○		○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○	○
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○		○	○
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○		○		○	
株式会社常陽銀行 （委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○		○	
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	○				○	
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○				○	○
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○		○		○	○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○		○	○	○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			○	○	○
株式会社広島銀行※3	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○			○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○		○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行※3	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○	○	○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1771号	○				○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	○

※1 世界ブロックチェーン株式ファンドはインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンドのことを表しています。

※2 予想分配金提示型コースはインベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）のことを表しています。

※3 インターネットでのお取り扱いのみとなります。

- 当ファンドの照会先 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）
電話番号：03-6447-3100 ホームページ：<https://www.invesco.com/jp/ja/>

スキマ時間の幅広い情報収集に！

インベスコ・アセット・マネジメントTwitterページ

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ってご利用ください。



インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド

インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド（予想分配金提示型）

「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入しておりません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会